

【当麻町】森林環境譲与税の活用について（全体像）

区分	令和元年度～令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（千円）	31,999	14,841	46,840	86.2%	余った譲与税については、基金に積み立てし、翌年度以降の民有林等整備促進（作業道の整備等）等に活用予定です。
譲与額（千円）	39,693	14,647	54,340		

（令和6年度：決算）

事業区分	事業名	当年度 森林環境 譲与税 収入額 （千円）	事業総額（千円）			当年度 基金 積立額 （千円）	当年度 基金 取崩額 （千円） ※2	事業内容	税導入の効果（実績）
			(A)+(B)	うち森林 環境譲与 税 （千円） （A）	うち他 の財源 （千円） （B） ※1				
意向調査、集積計画等作成	森林経営管理意向調査委託料	14,647	1,650	1,650	0	0	194	意向調査対象の整理及び意向調査票の作成と発送（約40件）調査結果の集計、分析、報告書作成。	【ワンフリース】 R6年度は、前年に続き森林経営管理意向調査、北森カレッジ支援、森林統合クラウドシステム利用、プロジェクト認証支援、民有林等整備支援、グリーンパーク管理・整備、ドローンの管理費等に対して譲与税を充てました。 また、新たに森林組合と農協が協力して実施するクリーンラーチ生産試験事業に対する支援を実施したほか、町自ら町産材の製材をストックし供給する新たな事業をスタートし、その財源として譲与税を活用しました。
その他 （人材育成等）	北海道林業・木材産業人材育成支援協議会賛助金		30	30	0			次代を担う人材の育成を図るため、令和2年度より開校した「北の森づくり専門学院」を支援する「北海道林業・木材産業人材育成支援協議会」に対して賛助金を支出	
意向調査、集積計画等作成	森林統合クラウドシステム回線使用料		82	82	0			北海道が運用する森林統合クラウドシステムをLG回線環境において使用するための使用料を支払い	
その他 （木材・普及啓発関係）	プロジェクト認証補助金		163	163	0			森林認証を受けた木材で建てられる戸建て住宅について、プロジェクトCoC認証を受けるため、その認証審査費用の1/2を補助を実施	
私有林整備	民有林等整備促進事業補助金		7,686	7,686	0			民有林等の整備を促進するため、人工林の保育、作業道整備、経営指導等に対して補助を実施 【補助率】 根踏・下刈：10,000円/ha（上乗せ） 除伐・保育間伐・間伐・枝打ち：20,000円/ha（上乗せ） 森林作業道整備：3/4（1,500千円） 作業道整備（災害対応）（2,058千円） 民有林指導：1/2（1,700千円）	【詳細】 本町の森林面積は13,391.35haで行政区域面積の約65%を占めていて、そのうち町有林は4,393.13ha、町有林を除く一般民有林（私有林）は2,595.06haです。 本町では、森林の有する多面的機能の持続的な発展に向けて、これまで国や道の森林整備事業予算や町単独予算などにより森林の整備を進めてきましたが、木材価格の低迷による森林所有者の不在村化、相続による世代交代などから整備が行き届かない森林の増加が懸念されています。このため、本町では、国から譲与される森林環境譲与税を有効に活用して、基本方針に基づき、適切な森林の整備やその促進につながる取組を計画的にかつ効果的に進めています。
その他 （木材・普及啓発関係）	鍾乳洞グリーンパーク管理事業		2,553	2,553	0			木育推進の場となる鍾乳洞グリーンパークの草刈りを始めとした施設の管理及び看板設置、ウッドチップ敷設、管理資機材購入等により施設整備を実施	
その他 （人材育成等）	林業事務経費		297	297	0			町所有ドローンの損害保険料、ドローン計測サービス（クラウド型SfM画像処理システム）使用料、森林環境税周知チラシ製作・印刷（町広報紙に併せて全戸配布）	
その他 （森林整備）	クリーンラーチ生産試験支援事業		5,359	2,359	3,000			当麻町森林組合が試験的に実施するクリーンラーチ（コンテナ苗）の育苗施設整備及びコンテナ苗生産資材等購入にかかる経費に対し1/2を補助 当麻農協が森林組合と協力し実施するクリーンラーチの幼苗育成施設設備に係る経費に対し1/2を補助	
その他 （木材・普及啓発関係）	町産材ストック供給		21	21	0			町産材を活用する事業等に備えて、町が原木を製材・乾燥までして保管し供給する事業	
合計		14,647	17,841	14,841	3,000	0	194		

※千円未満の端数は四捨五入